

102. 採石のしかた

【問い】 小学校1年になる息子が、自由研究で河原の石を集める計画を立て、私も息子と一緒に河原に出かける約束をしました。私は石の名まえはわかりません。どのような石を集めたらよいか教えて下さい。

【答え】 自由研究は、児童にとって大変な課題です。何を研究したらよいか、その研究の対象がなかなか頭に浮かんでこないままに、日々が過ぎるのが現状です。その点、息子さんは早めに、河原の石集めを課題に自分で決めたことは立派です。

さて、どのような石を集めたらよいかとの質問ですが、学校では石を素材にして石あそびを通して自然への親しみ、自然を調べる能力や態度を育てることを目標としている…。1学年の石あそびでは個々の石の名をおぼえる学習ではなく、観察を通して石には白っぽい石、青っぽい石、黒っぽい石、しま模様のある石と、石にはそれぞれ色があること。形として丸くころがりやすい石、石けり遊び用のうすい石、角ばった石といろいろな形の石があること、触ってざらざらする石、つるつるする石、軟やかく粉になる石など、石にはそれぞれ特徴があることに気付かせ、それぞれの特徴で石を仲間わけする学習が行われます。

息子さんはお父さんと一緒に河原に出かける日を、さぞ心持ちにしていることでしょう。さて、河原の石の採集ですが、川がどの山系に源をもつかによって河原の石の種類が限定され、また、中流と下流とでも石の種類に違いがある川もありますので、採集計画を立てる際、一カ所の河原だけでなく、中流、下流の二カ所の河原で採集されるようにしたらよいでしょう。また海水浴に出かけられ際は、ぜひ浜通りの河原の石集めも計画に入れておきましょう。中通りで見られない硬い青っぽい石が採集されます。